

GakuNin RDMの利用マニュアル

Ver. 1.1 2025年12月16日

改訂履歴

[illegible]

目次

1. GakuNin RDMとは
2. GakuNin RDMへのログイン
3. GakuNin RDMでのアカウントの設定
4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成
5. プロジェクトへのファイルのアップロード
6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)
7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加
8. 付録 GakuNin RDM ・ Cloudianオンラインマニュアル

1. GakuNin RDMとは

GakuNin RDMは、国立情報学研究所（NII）が提供する研究データ管理システムであり、研究者が研究活動の中で生成・収集するデータを安全かつ効率的に管理・共有するためのサービスです。

使い方は付録に示すオンラインマニュアルを参照してください。

主な特徴と機能

- ・研究データの一元管理

研究チームが持つ多様なデータを一つのプロジェクト単位で整理・保存し、メンバー間で共有できます。

メンバーには、鹿児島大学所属者（学生・教職員）はもちろん、学認※参加の他機関の構成員もメンバーにすることができます。

- ・外部ストレージ連携

S3 Compatible Storageや各種クラウドストレージと接続が可能です。

- ・研究公正の確保

タイムスタンプ機能により、ある時点でのデータの存在や改変の有無を証明でき、研究不正の防止に役立ちます。

- ・シングルサインオン対応

学術認証フェデレーションに対応しており、学外からでも普段と同じ環境で利用できます。

※学認とは国立情報学研究所（NII）が運営する学術認証フェデレーションです。詳しくは <https://www.gakunin.jp/> を参照。

2. GakuNin RDMへのログイン

①.下記URLからGakuNin RDMにアクセス

<https://rdm.nii.ac.jp/>

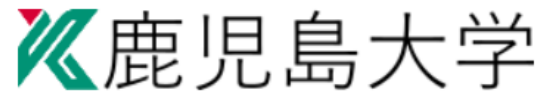
GakuNin RDMのサイトが表示されたら ↓ をクリックして鹿児島大学をクリックする。

選択ボタンをクリックする事で統合認証のページに遷移



2. GakuNin RDMへのログイン

②.鹿児島大学統合認証ページから鹿児島大学ID及びパスワードを入力してログインします。



ログインサービス: GakuNin RDM アカウント管理サービス

☒ ログインを記憶しません。

☐ 送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。

Login

3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

①.登録メールアドレス設定

登録メールアドレスを入力してメールアドレスを追加ボタンをクリック

 **GakuNin RDM**

マイプロジェクト 検索 サポート  New User (no name) ▾

お知らせ: 不正利用防止のため、2025年5月9日（金）より、Orthrosアカウントでの未申請利用にプロジェクトの作成制限を適用します。Orthrosアカウントで正式利用中の機関の方は、機関ドメインのメールアドレスをプロフィールのプライマリメールへ登録することで、従来通り利用が可能です。対象となるドメインが不明の場合は、各機関のご担当部署までお問い合わせください。【参考：Orthros利用機関の確認】<https://support.rdm.nii.ac.jp/about/>（GakuNin RDMとは >> 私は GakuNin RDM を使えますか？）

設定

プロフィール

アカウント設定

アドオンアカウント構成

メール通知設定

開発者アプリ

パーソナルアクセストークン

メールアドレスが未登録のユーザは、先に『登録メールアドレス』記入欄に、メールアドレスを入力・追加してください。

登録メールアドレス *

未確認のメール

以下にメールアドレスを追加してください。

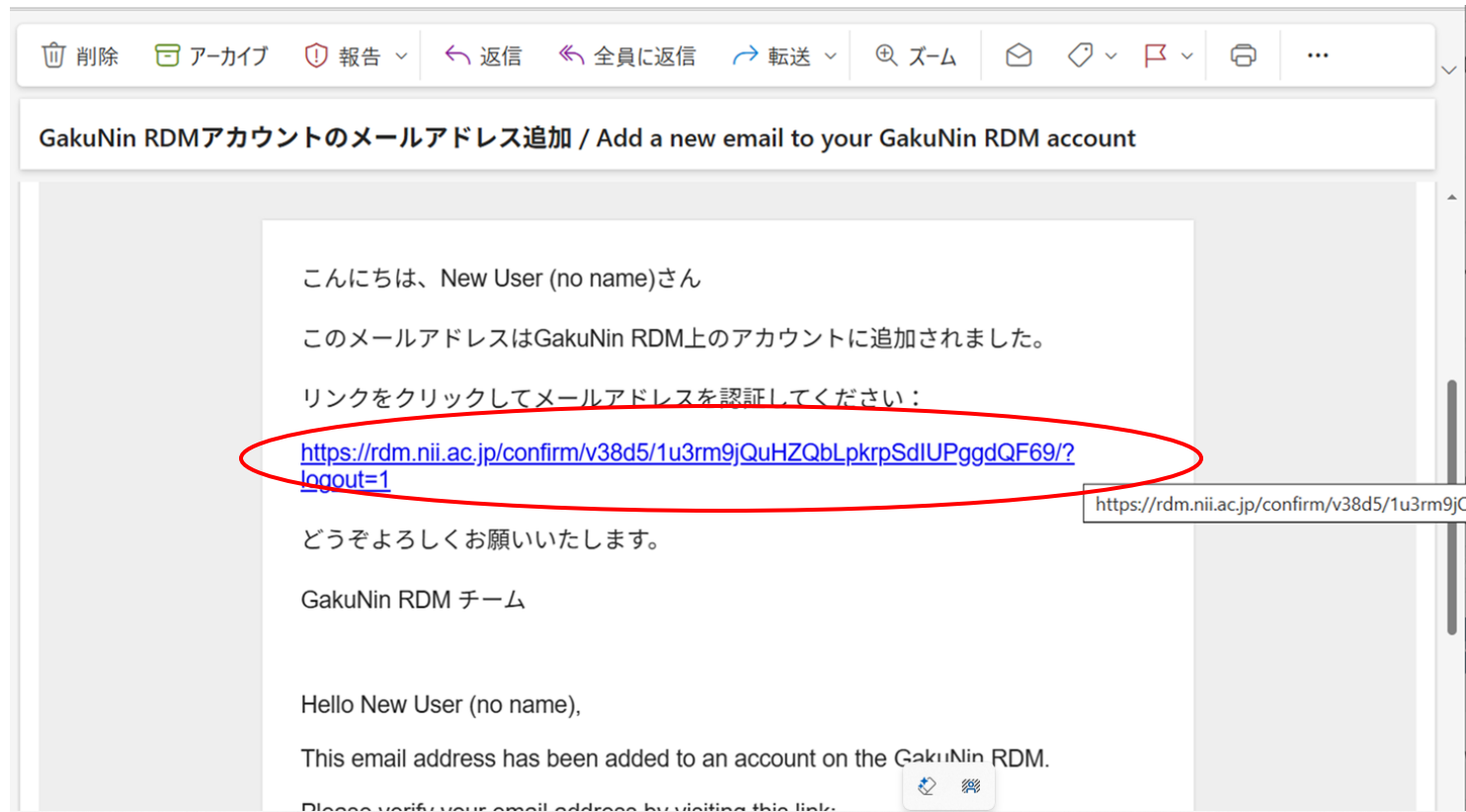
メールアドレス

このフィールドに入力してください。

メールアドレスを追加

3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

②.登録メールアドレスに届く、GakuNin RDMからのメール本文内のリンクをクリックして、メールアドレスを認証する。



3. GakuNin RDMでのアカウントの設定（初回ログイン時）

③.リンクをクリックすると、メールの追加確認画面が表示され、「メールを追加」ボタンをクリックして氏名、姓、名前、姓（英語）、名前（英語）及び職歴内の所属、所属（英語）を入力する。

The screenshot shows the GakuNin RDM user interface. At the top, there's a navigation bar with 'GakuNin RDM', 'マイプロジェクト', '検索', 'サポート', and a user profile dropdown showing 'New User (no name)'. A dark banner contains a notice about email domain requirements. The main content area is titled '設定' (Settings) and has a sidebar menu with options like 'プロフィール', 'アカウント設定', 'アドオンアカウント構成', 'メール通知設定', '開発者アプリ', and 'パーソナルアクセストークン'. A modal dialog titled 'メールを追加' (Add Email) is open, asking 'アカウントにk1995543@kadai.jpを追加しますか?' (Do you want to add k1995543@kadai.jp to your account?). It has two buttons: 'メールを追加しないで下さい' (Do not add email) and 'メールを追加' (Add email), with the latter being highlighted by a red circle. Below the modal, a red warning message states that certain fields are mandatory. The form includes tabs for '名前*' (Name), '職歴*' (Career), '学歴' (Education), and 'ID'. The '名前*' tab is active, showing a '氏名 (例: Taro Suzuki Sato) *' (Surname) field with the value 'New User (no name)'. Below this is an '自動入力' (Auto-fill) button and a note about the display of names. At the bottom, there are three rows of input fields for '姓*' (Surname), 'ミドルネーム、旧姓等' (Middle name, former names, etc.), and '名前*' (First name), each with an English version below it.

お知らせ: 不正利用防止のため、2025年5月9日 (金) ドメインのメールアドレスをプロフィールのメールアドレスに設定する必要があります。【参考: Orthros利用機関の確認】 <https://support.kadai.jp/>

メールを追加

アカウントにk1995543@kadai.jpを追加しますか?

メールを追加しないで下さい **メールを追加**

プロフィールを表示

名前タブの「氏名」「姓」「名前」「姓(英語)」「名前(英語)」、ならびに職歴タブの「所属」「所属(英語)」は必須入力(*)です。

名前* 職歴* 学歴 ID

氏名 (例: Taro Suzuki Sato) *

New User (no name)

上記の氏名は、プロフィールに表示される名前です。引用での名前の表示方法を制御するには、[自動入力]ボタンを使用して、名や姓などを自動的に補完できます。または下のフィールドを編集します。

自動入力

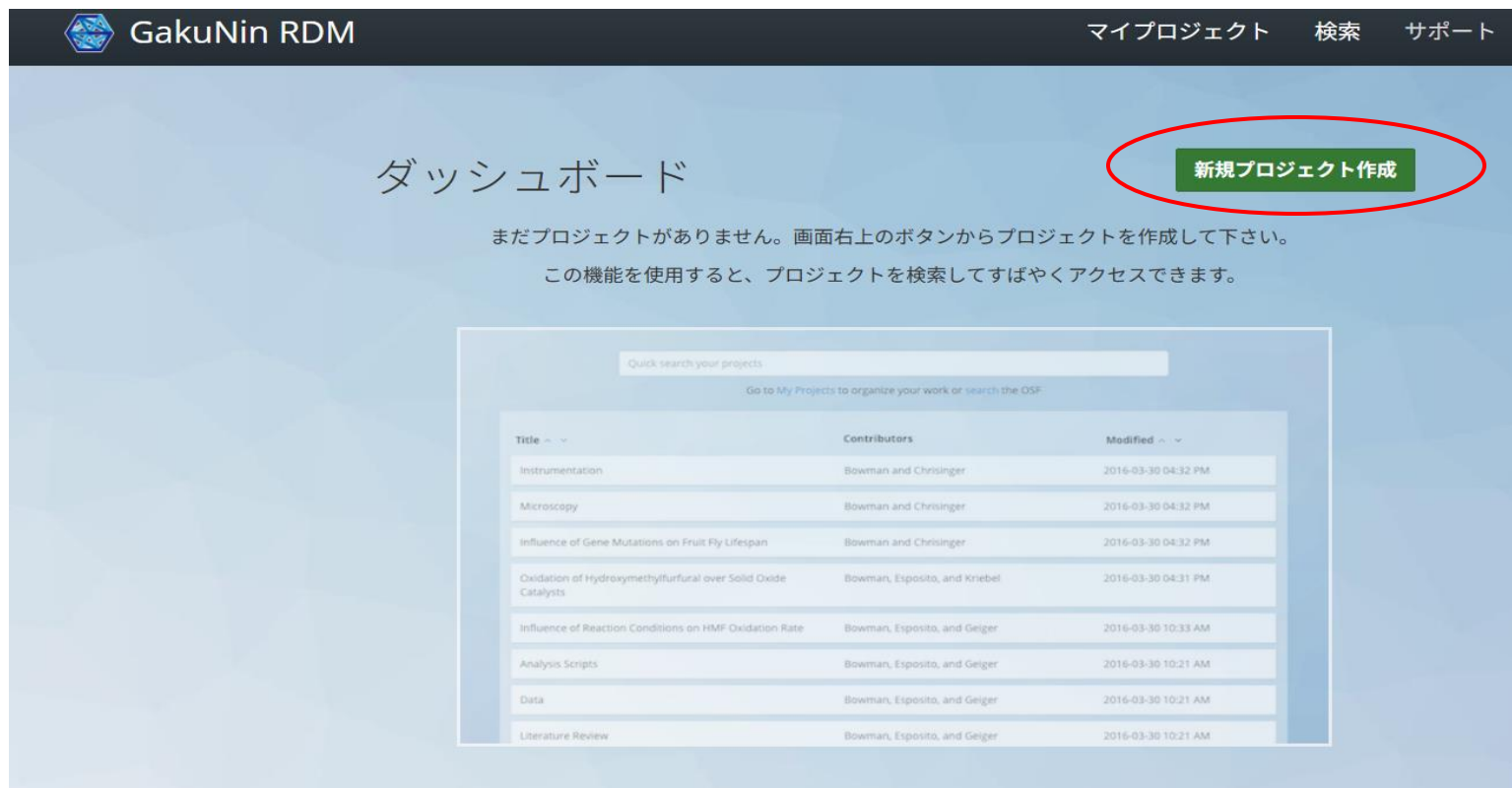
姓* ミドルネーム、旧姓等 名前*

姓 (英語)* ミドルネーム、旧姓等 (英語) 名前 (英語)*

4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成

①.新規プロジェクトの作成（研究データの保管単位）

※プロジェクトごとにメンバーを設定することができるので、必要に応じて複数のプロジェクトを作成してください。



The screenshot shows the GakuNin RDM dashboard. At the top, there is a navigation bar with the GakuNin RDM logo and the text 'GakuNin RDM'. To the right of the logo are links for 'マイプロジェクト' (My Projects), '検索' (Search), and 'サポート' (Support). The main heading is 'ダッシュボード' (Dashboard). Below the heading, there is a message: 'まだプロジェクトがありません。画面右上のボタンからプロジェクトを作成して下さい。' (There are no projects yet. Please create a project from the button in the top right corner of the screen.) and 'この機能を使用すると、プロジェクトを検索してすばやくアクセスできます。' (Using this feature, you can search for projects and access them quickly.) A green button labeled '新規プロジェクト作成' (Create New Project) is circled in red. Below the message, there is a search bar and a table of projects.

Quick search your projects

Go to My Projects to organize your work or search the OSF

Title	Contributors	Modified
Instrumentation	Bowman and Chrisinger	2016-03-30 04:32 PM
Microscopy	Bowman and Chrisinger	2016-03-30 04:32 PM
Influence of Gene Mutations on Fruit Fly Lifespan	Bowman and Chrisinger	2016-03-30 04:32 PM
Oxidation of Hydroxymethylfurfural over Solid Oxide Catalysts	Bowman, Esposito, and Kriebel	2016-03-30 04:31 PM
Influence of Reaction Conditions on HMF Oxidation Rate	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:33 AM
Analysis Scripts	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM
Data	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM
Literature Review	Bowman, Esposito, and Geiger	2016-03-30 10:21 AM

4. GakuNin RDMでのプロジェクトの作成

②.プロジェクトのタイトルを入力して作成ボタンをクリック



新規プロジェクトの作成

タイトル

テストプロジェクト

▶ 詳細

キャンセル 作成

③.プロジェクトが作成されたら、「プロジェクトへ移動」ボタンをクリック



新規プロジェクトが作成されました

このページに留まる プロジェクトへ移動

5. プロジェクトへのファイルのアップロード

①.プロジェクトが表示されたら「ファイル」をクリック



The screenshot shows the GakuNin RDM interface. At the top, there's a dark header with the GakuNin RDM logo and navigation links: マイプロジェクト, 検索, サポート, and a user profile for 斎藤正樹. Below this is a light gray navigation bar with tabs: テストプロジェクト (selected), ファイル (circled in red), Wiki, メンバー, アドオン, 設定, and 証跡管理. The main content area is titled 'テストプロジェクト' and includes metadata: Member: 斎藤正樹, Affiliation: 鹿児島大学, Creation time: 2025-07-16 04:21 PM, Last update: 2025-07-16 04:21 PM, Category: プロジェクト, and License: ライセンスなし. On the left, there are two panels: 'Wiki' with a text area for adding information, and 'ファイル' (Files) with a section for uploading files via a storage provider (currently showing 'テストプロジェクト' and 'NII Storage'). On the right, there are panels for '引用' (Citations), 'コンポーネント' (Components) with buttons to add components or link projects, and 'タグ' (Tags) for adding tags to the project.

GakuNin RDM

マイプロジェクト 検索 サポート 斎藤正樹

テストプロジェクト ファイル Wiki メンバー アドオン 設定 証跡管理

テストプロジェクト

メンバー: 斎藤正樹
所属機関: 鹿児島大学
作成日時 2025-07-16 04:21 PM | 最終更新日時 2025-07-16 04:21 PM
カテゴリ: プロジェクト
説明: プロジェクトに簡単な説明を追加してください
ライセンス: ライセンスなし

Wiki

重要な情報、リンク、または画像をここに追加して、プロジェクトを説明してください。

ファイル

ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします

名前 最終更新日時

テストプロジェクト

NII Storage

引用

コンポーネント

コンポーネントを追加 プロジェクトをリンク

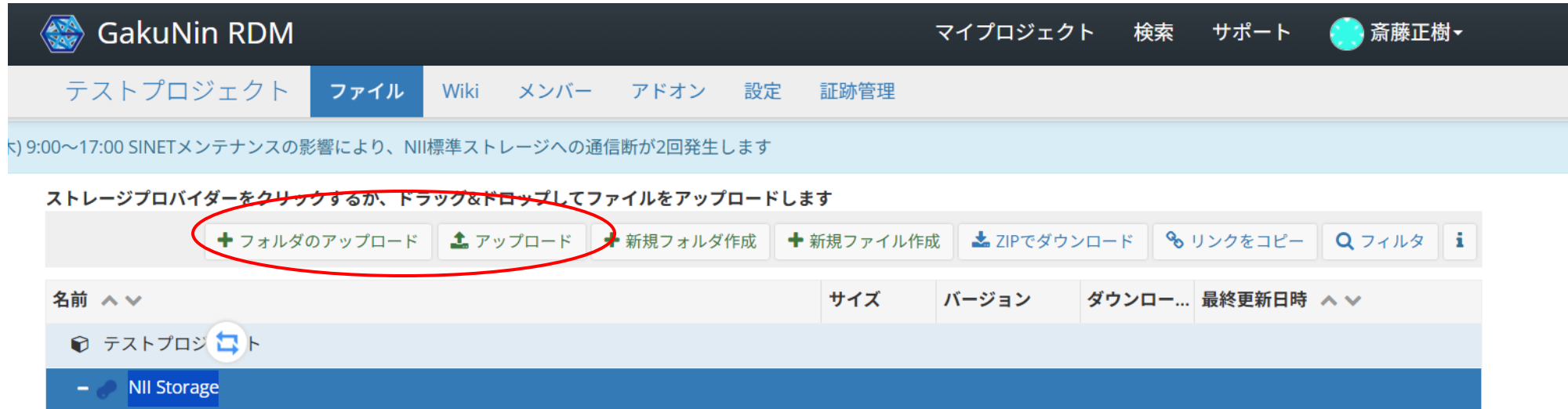
コンポーネントを追加して、プロジェクトを整理します。

タグ

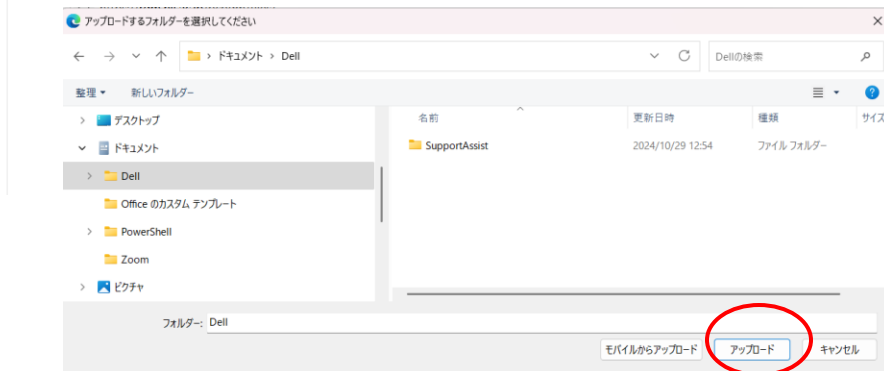
タグを追加してプロジェクトを発見しやすくする

5. プロジェクトへのファイルのアップロード

②. NII Storageを選択後、表示されるフォルダーアップロードまたはアップロード（ファイル）を選択



③. フォルダーまたはファイルを選択後アップロードボタンをクリック



6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

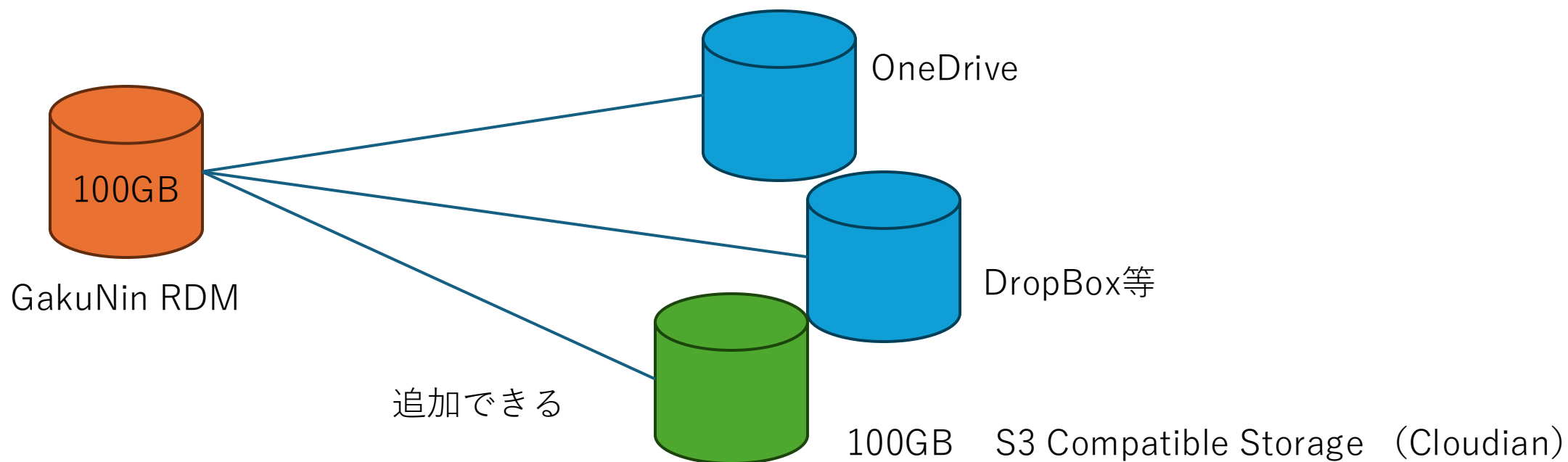
- 拡張ストレージについて

GakuNin標準ストレージ (NII Storage) とは別に、外部ストレージ (S3 Compatible Storage (Cloudian) OneDrive等) をプロジェクトに拡張ストレージとして追加設定することで、標準ストレージと同様に利用することが可能です。

鹿児島大学として、 S3 Compatible Storage (Cloudian)を用意しているので利用 (追加) 可能です。

※但し、 GakuNin RDM の仕様により、 S3 Compatible Storageは一種類のサービスのみ利用可能です。

複数のS3 Compatible Storageの併用はできません。



6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

- ①.GakuNin RDMからの接続で必要となるアクセスキーを確認するために、下記URLから Cloudian Management Console (CMC)にアクセスしてログイン

<https://cmc.cc.kagoshima-u.ac.jp:8443/>

グループID：ku-staff (固定)

ユーザID：鹿児島大学ID (kxxxxxxx) パスワード：統合認証のパスワードを入力



サインイン

グループID:

ku-staff

ユーザー ID:

kXXXXXXXXX

パスワード:

.....

ログイン

6. 拡張ストレージの使用準備 (Cloudian)

②.CMCのアカウントタグ→セキュリティ証明書を選択

GakuNin RDMからの接続で必要となるアクセスキーIDの取得及び、シークレットキーを「View Securet Key」を選択してその後表示される値を取得する。

The screenshot shows the Cloudian IAM console. The top navigation bar includes the Cloudian logo, a search bar, and tabs for '分析' (Analysis), 'オブジェクト' (Object), 'IAM', and a user profile 'K2773395'. The 'IAM' tab is active, and the 'セキュリティ証明書' (Security Certificate) menu item is highlighted. Below the navigation bar, the 'オブジェクト' (Object) tab is selected, and the 'S3アクセスクレデンシャル' (S3 Access Credentials) table is displayed. The table has columns for 'STATUS', '作成済' (Created), 'EXPIRY', 'アクセスキーID' (Access Key ID), and 'アクション' (Action). A single row is shown with 'Active' status, '12月-16-2025 09:22 +0900' expiry, and 'Never' access key ID. The 'アクション' column contains a dropdown menu with options: 'View Secret Key', '無効にする' (Invalidate), and '削除' (Delete). A green button '新しいキーを作成' (Create New Key) is also visible.

STATUS	作成済	EXPIRY	アクセスキーID	アクション
Active	12月-16-2025 09:22 +0900	Never	691bc3b7ab1abff1c64d	<div>⋮ View Secret Key 無効にする 削除</div>

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

- ③. GakuNin RDMに戻り、ストレージを追加するプロジェクトを選択してプロジェクト内のアドオンをクリック
→S3 Compatible Storageのアドオンを有効化するをクリックする。

GakuNin RDM

マイプロジェクト 検索 サポート 齋藤正樹

テストプロジェクト ファイル Wiki メンバー **アドオン** 設定 証跡管理

00:00~17:00 SINETメンテナンスの影響により、NII標準ストレージへの通信断が2回発生します

アドオンを選択

アドオンを構成

アドオンを選択

プロジェクトを外部サービスと同期して、接続と整理を維持します。カテゴリを選択し、オプションを参照します。

カテゴリ	検索する...
すべて	ONLYOFFICE (これは標準ストレージです)
文献管理	OpenStack Swift 有効にする
ストレージ	Oracle Cloud Infrastructure Object Storage 有効にする
その他	ownCloud 有効にする
	S3 Compatible Storage 有効にする
	Zotero 有効にする

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

④.アドオンを規約を確認して確認ボタンをクリックする。

S3 Compatible Storage アドオン規約

機能	ステータス
権限	GakuNin RDMプロジェクトを公開または非公開にする設定は、S3 Compatible Storage/バケットをパブリックまたはプライベートにする設定とは独立しています。GakuNin RDMはリンクされたS3 Compatible Storage/バケットの権限を変更することはありません。
ファイルバージョンの閲覧/ダウンロード	S3 Compatible Storageバケットのバージョンングが有効になっていれば、S3アドオンはファイルバージョンをサポートします。
ファイルの追加/更新	GakuNin RDMからプロジェクトのファイルを追加 / 更新すると、S3 Compatible Storageに反映されます。
ファイルの削除	GakuNin RDMから削除されたファイルは、S3 Compatible Storageで削除されます。
ログ	GakuNin RDMは、GakuNin RDMからS3 Compatible Storageのバケットに行った変更を追跡しますが、S3 Compatible Storageを使って直接行った変更については追跡しません。
フォーク	プロジェクトやコンポーネントのフォーク時、S3 Compatible Storageの認証はコピーされません。ただし、プロジェクトをフォークするユーザーが、フォーク元のプロジェクトでS3 Compatible Storageアドオンを承認したユーザーと同一である場合はコピーされます。

- このアドオンにより、GakuNin RDMプロジェクトは外部サービスに接続されます。このサービスを利用することで、それら外部サービスの利用規約に拘束されます。GakuNin RDMは、それらサービスまたはユーザーによるその利用に対して責任を負いません。
- このアドオンにより、外部サービスを使ってファイルを保存することが可能となります。このアドオンに追加されたファイルは、GakuNin RDM内には保存されません。

キャンセル

確認

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

- ⑤アドオンを有効にすると表示される、「アドオンを構成」の「プロフィールからアカウントをインポート」をクリック→S3 Compatible Storageアカウントに接続ボタンをクリック

The screenshot displays the GakuNin RDM web interface. At the top, the header includes the GakuNin RDM logo, navigation tabs (テストプロジェクト, ファイル, Wiki, メンバー, アドオン, 設定, 証跡管理), and user information (マイプロジェクト, 検索, サポート, 齋藤正樹). The 'アドオン' (Add-on) tab is selected.

A modal dialog titled 'S3 Compatible Storageアカウントに接続しますか?' (Do you want to connect to the S3 Compatible Storage account?) is open. It contains the text 'S3 Compatible Storageアカウントをこのプロジェクトに接続してもよろしいですか?' (Do you want to connect the S3 Compatible Storage account to this project?). At the bottom of the dialog are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '接続' (Connect). The '接続' button is circled in red.

Below the dialog, the 'アドオンを構成' (Configure Add-on) section is visible. It shows a list of add-ons, with 'S3 Compatible Storage' selected. To the right of this add-on, the text 'プロフィールからアカウントをインポート' (Import account from profile) is circled in red.

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑥. S 3 互換ストレージアカウントを接続する画面にて、下記項目を入力する。

- ・ S 3 互換サービス：Kagoshima University RDM storage(Cloudian)を選択
- ・ アクセスキー：②で取得したアクセスキーIDを入力
- ・ シークレットキー：②で取得したシークレットキーを入力

S3互換ストレージアカウントを接続する

S3互換サービス

Kagoshima University RDM Storage (Cloudian) ▼

アクセスキー

2da7273e135b9ee3a026

シークレットキー

.....

キャンセル

保存

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑦.使用するBucket（フォルダー）作成

bucketを作成ボタンをクリックして、Bucket Nameに名前を入力してcreateボタンをクリックする。

※ Bucket Nameは、全学で一意的な値にする必要があり、すでに使用されている場合にはエラーが発生します。

このためBucket Nameの先頭に鹿児島大学IDなどを付けるなど、一意になるようにしてください。

またBucket Nameに使用可能な文字種は、英字小文字、数字、ハイフン (-)、ピリオド (.)です。

アドオンを構成

S3 Compatible Storage authorized by 斎藤正樹 [アカウントを切断](#)

現在のBucket：無し

[変更](#) [bucketを作成](#)

Create a new bucket

Bucket Name

Bucket Location

[Cancel](#) [Create](#)

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑧. bucket作成後、使用するBucketを選択して保存をクリック

※Bucketは、複数作成可能ですが、プロジェクトで利用できるBucketは1つのみです。

複数のプロジェクトで同じBucketを利用することもできますが、ファイルがそれぞれのプロジェクト参加メンバーからアクセスできるので、プロジェクトごとにBucketを分けた方が良いでしょう。

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑨. ファイルをクリックして作成したBucketが、S3 Compatible Storageに表示されることを確認します。



The screenshot shows the GakuNin RDM web interface. The top navigation bar includes the GakuNin RDM logo, a search bar, and links for 'マイプロジェクト' (My Project), '検索' (Search), 'サポート' (Support), and a user profile for '斎藤正樹'. Below the navigation bar, the 'ファイル' (Files) tab is highlighted with a red circle. A blue banner message states: '9:00~17:00 SINETメンテナンスの影響により、NII標準ストレージへの通信断が2回発生します' (Due to SINET maintenance from 9:00 to 17:00, communication with NII standard storage will be interrupted twice). Below the banner, a message says: 'ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします' (Click on the storage provider or drag&drop to upload files). The main content area displays a table of storage providers with columns: '名前' (Name), 'サイズ' (Size), 'バージョン' (Version), 'ダウンロード' (Download), and '最終更新日時' (Last Updated Time). The table lists three providers: 'テストプロジェクト' (Test Project), 'NII Storage', and 'S3 Compatible Storage: testbuket (Default)'. The 'S3 Compatible Storage: testbuket (Default)' provider is highlighted with a green background.

名前	サイズ	バージョン	ダウンロード	最終更新日時
テストプロジェクト				
NII Storage				
S3 Compatible Storage: testbuket (Default)				

7. GakuNin RDMプロジェクトへの拡張ストレージ追加 (Cloudian)

⑩. フォルダ及びファイルの作成

S3 Compatible Storageをクリックすることで、フォルダーのアップロード、アップロード、新規フォルダ作成、新規ファイルが表示され、これらの項目を選択して作成します。

GakuNin RDM

マイプロジェクト 検索 サポート 齋藤正樹

テストプロジェクト ファイル Wiki メンバー アドオン 設定 証跡管理

ストレージプロバイダーをクリックするか、ドラッグ&ドロップしてファイルをアップロードします

+ フォルダのアップロード アップロード + 新規フォルダ作成 + 新規ファイル作成 ZIPでダウンロード リンクをコピー フィルタ i

名前	サイズ	バージョン	ダウンロー...	最終更新日時
テストプロジェクト				
- NII Storage				
- S3 Compatible Storage: testbuket (Default)				

※フォルダ及びファイル名称に使用可能な文字種に関しては、英数字及び下記の記号が使用可能です。

但しアスタリスク (*)は、Windowsでは使えないため、使わない方が無難です。

漢字に関しても技術的には使用可能ですが、運用上のトラブルを避けるため非推奨です。

<使用可能な記号>

感嘆符 (!)、ハイフン (-)、下線 (_)、ピリオド (.)、アスタリスク (*)、一重引用符 (')、左丸括弧 (()、右丸括弧 ())

8. 付録 GakuNin RDM・Clouddianオンラインマニュアル

< GakuNin RDMオンラインマニュアル >

<https://support.rdm.nii.ac.jp/usermanual/>

< GakuNin RDM活用事例集 >

<https://support.rdm.nii.ac.jp/casestudy/>

< GakuNin RDM Q&A集 >

<https://support.rdm.nii.ac.jp/faq/>

< Clouddian HyperStore利用者マニュアル >

[拡張ストレージ利用マニュアル（HyperStore利用者マニュアル）](#)